



サイバーだより



令和7年度No.24 (R 8.1)

そのメール、本当に「社長」からですか？



令和7年12月ころより、**事業者の代表者、自治体の首長**になりましたビジネスメール詐欺(B E C : Business Email Compromise)が**全国的に増加**しています。

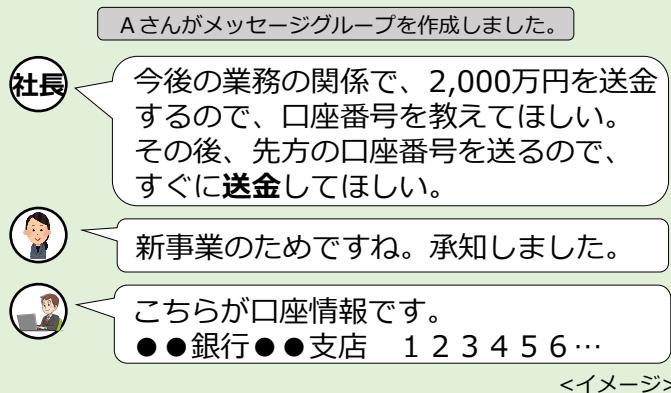
相手の指示どおりに操作すると、**口座情報等を盗み取られ、不正送金等の被害に遭う可能性**があります。

その他、メールアドレスを利用され、取引先等への被害に発展することも考えられます。

京都太郎社長からのメールだわ。
L I N Eグループを作成して、
社長にグループの二次元コード
をお送りすれば良いのね。



< Aさん >



受信日時：2026年1月13日(火)13:43

差出人：京都太郎<example@●●●>

件名：業務の効率化について

内容：

お疲れ様です。

仕事の連絡をさらに便利にし、仕事の効率を高め、情報のコミュニケーションを強化するために、会社のL I N Eグループを作ってください。

グループ作成が完了したら、このメールアドレスにL I N Eグループの二次元コードを返信してください。

受け取ればすぐに返信してください。

そのあとは別の仕事があります！

<イメージ>

■ 不審メールの特徴 ■

- 公表されている事業者の代表者等をかたる
- メール内容が「業務の効率化」「アカウント情報の定期確認」等となっている
- L I N E等でグループを作成、二次元コードを送信するよう指示される
- 送信元メールアドレスを偽装している

▼ 被害に遭わないために ▼



- 「本人」に、受領したメッセージ以外の方法（電話、社内の内線等）で事実を確認
- 一人で判断せず、複数で確認（組織内で情報共有）
- リンクや添付ファイルは開かない
- 別のメールアドレスから同様のメールが送られてくる可能性があることに留意
- ★ 被害に遭った際はすぐに警察に通報してください



京都府警察サイバー対策本部

京都府警察サイバー対策本部のX公式アカウント(@KPP_cyber)では、サイバー犯罪被害防止等について情報を発信しています。



ぜひ、フォロー・いいね！
をお願いします♪



@KPP_cyber